

心のゆとりと共感性

：ゆとりがある人は他者に共感しやすいか？

○小林亮太¹・宮谷真人¹・中尾敬¹

(¹広島大学教育学研究科)

問題

ゆとりは、余裕があること、窮屈でないこととされている(広辞苑)。これまでのゆとり研究の多くは、研究者の臨床経験などに基づいてゆとりに言及するものであった。たとえば、心のゆとりを有する者は、他者に共感をすることができる(河合, 1974) というものがある。この主張については、同様の示唆が、看護師を対象とした質的研究でもなされていることから(上野他, 2009)、心のゆとりと共感の間には関連があると考えられる。しかし、この心のゆとりと共感の関連は実証されてはいない。そこで、本研究では心のゆとりと共感性の間に相関が認められるか検討を行う。

調査 1

富田(2012)は、心のゆとりを焦りが無い状態、充足感や安心感がある状態、他者に配慮できる状態に区分し、測定する尺度を作成した。調査1では、この心のゆとり感尺度と共感の個人特性(共感性)を個人的苦痛、共感的関心、視点取得、ファンタジーの4側面から測定する尺度である対人反応性指標(IRI; Davis, 1980)の関連を検討する。

方法

大学生120名(女性80名, $M=21.15$ 歳)を対象に、(1)心のゆとり感尺度(富田, 2012)、(2)日本語版IRI(日道他, 2017)への回答を求めた。

Table 1 心のゆとりと共感性の関連

		心のゆとり		
		焦りなし	充足・安心	他者配慮
共感性	個人的苦痛	-.36 **	-.28 **	-.32 **
	共感的関心	-.01	.10	.38 **
	視点取得	.23 *	.22 *	.41 **
	ファンタジー	-.01	.16	.24 *

** $p < .01$, * $p < .05$

Table 2 経済的、時間的を含んだゆとりと共感性の関連

		ゆとり			
		精神的安定感	対人的余裕	時間的余裕	経済的余裕
共感性	個人的苦痛	-.37 **	-.32 **	-.04	-.06
	共感的関心	-.05	.29 **	-.16	-.06
	視点取得	.21 **	.32 **	-.12	.08
	ファンタジー	-.01	.06	.01	.17 *

** $p < .01$, * $p < .05$

結果と考察

心のゆとり感尺度、IRIの因子間の相関係数を算出した(Table 1)。心のゆとりと個人的苦痛の間に負の相関が見られたのは、心のゆとりがある者ほど、他者への共感により、苦痛が生じても、その苦痛を適切に制御できる(富田, 2012)ためだと考えられる。一方で、心のゆとりを有する者ほど、客観的で広い視点を有している(藤原, 1974)ために、心のゆとりと他者視点をを用いて他者の気持ちを考える視点取得との間に正の相関が認められたと推察される。

調査 2

調査2では、心のゆとりだけでなく、経済的、時間的ゆとりも共感性と関連するか検討を行う。

方法

大学生160名(女性97名, $M=21.33$ 歳)を対象に(1)大学生版ゆとり尺度(北爪・菅野, 2006)の経済的余裕、時間的余裕、精神的安定感因子、および(2)日本語版IRIへの回答を求めた。

結果と考察

ゆとり尺度、IRIの相関係数を算出した(Table 2)。時間的余裕や経済的余裕は、共感性と関連しないことが示された。前者は、忙しいときに共感できなくなることを面接法により示した小代(1989)と一致しない。また、経済的なゆとりが共感性の個人的苦痛や共感的関心と関連しないという結果は、社会経済的地位が共感に影響することを示した研究(Stellar et al., 2012)と一致しない。このような不一致は、経済的ゆとり、時間的ゆとりが単なる時間のなさや収入の多さとは異なる可能性を示唆している。今後は実際の忙しさ、および収入を考慮した上で、ゆとりと共感性の関連を検討する必要があると考えられる。一方で、心のゆとりを意味する精神的安定感と共感性の間に調査1と同様の関連が認められた。この点は、実際に感情が生起する共感課題とゆとりの関連を検討することで、心のゆとりと共感の結びつきを深く理解できるだろう。